

平成31年4月15日

チーム・選手の皆様へ

2019年度改正点等のお知らせ

本年度野球規則、競技者必携、北海道軟式野球連盟取決め事項などの一部改正に伴い網走支部の取決め事項等の一部が変更になりましたので、関係者への徹底をお願い致します。

その他の事項等につきましては「公認野球規則 2019」「全日本軟式野球連盟 競技者必携 2019」をご覧ください。

なお、不明な点がございましたら事務局へお問い合わせください。

1. 学童（小学生）の部の改正点

- ① 全国大会での投手の投球制限について、1投手1日70球以内とする。ただし北海道大会、網走支部大会は2019年に限り、従来のイニングでの投球制限とする。
- ② 試合球については、2019年から学童のJ号（ジュニア）を使用する。
- ③ 試合開始前のシートノックの際のブルペン捕手について、コーチ（ユニフォームを着た28番、29番）1名のブルペン捕手を認める。
- ④ ユニフォームのズボンについて、ストレートパンツについては、選手はもとより監督・コーチも認めない。
- ⑤ 熱中症対策としてベンチ入りできる保護者（女性）2名に関しては、大会本部の判断により認められる。
- ⑥ 延長戦について、7回を終了し同点の場合はタイブレーク方式（無死1・2塁。継続打順）で行い9回を終了して決着がつかないときは抽選で勝敗を決定する。

2. 一般の部及び公認野球規則、競技者必携等について

- ① 延長戦について 9回を終了して同点の場合は12回まで延長戦を行い、同点の場合は13回からタイブレーク方式（無死1塁・2塁）で行う
- ② 公認野球規則 8.02(C) 投球カウントの誤りの訂正は、投手が次の打者へ1球を投じるまで、またはイニングや試合の最終打者の場合には守備側チームのすべての内野手がフェア地域を離れるまでに行わなければならない。
- ③ 投手の投球動作 投手が投球する際に一度離れた手を再び合わせたり、投げ手でグラブをたたいたりすることを禁止する。この時走者がいればボークとなる。
- ④ 自チームの攻撃中（特に2死になってから）投手のベンチ前での投球練習（キャッチボール）を禁止する。